

## 令和6年度（R6年4月～R7年3月）学 校 評 価

◇ 評価点は、Ⅰ～Ⅺのカテゴリーごと各項目を、〔4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切〕と採点し、その平均点

として表したものである。各カテゴリーの点検内容については別紙公開の「看護師等養成所の自己点検・自己評価指針」を参照。

| カテゴリー・項目数            | 自己評価                                                                                                                                                                                                                                                    | 学校関係者評価                 |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
|                      | 評価点〔3.8〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔3.8〕                |
| Ⅰ 教育理念・教育目的<br>(5項目) | 教育理念、目的、目標、人材育成像、特色等webで公開、学生には授業概要で周知して初回授業時に適宜説明、保護者には入学時に説明を行っている。<br>今後も保護者アンケートを実施して教育理念等を周知する機会とし、保護者の期待や要望などの情報収集を行っていく。入学時の保護者を交えたオリエンテーションで、ディプロマポリシーの周知を図る。                                                                                   | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔3.9〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔3.9〕                |
| Ⅱ 学校運営<br>(8項目)      | 合理的配慮に関する事項が令和6年4月から義務化になったが、周知されていなかったため、年度内にHPIに掲載した。成績管理システムやGoogleWorkspace等ICTを使いこなせていない。Wi-Fi環境は整ったが、情報漏洩の課題とともに職員のICTスキル向上の必要がある。学生管理システムを活用して事務効率の向上、学生指導に積極的に活用していく。学生便覧に合理的配慮やハラスメント等について掲載していく。                                              | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔3.8〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔3.8〕                |
| Ⅲ 教育活動<br>(14項目)     | 教育課程の体制は全学年新カリキュラムにより充実した内容となっている。令和5～6年度で3人の教員が退職し、3人の新採教員が採用されたが、養成研修未受講の教員が多く、計画的な受講により教育の向上を図っていく必要がある。                                                                                                                                             | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔3.6〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔3.6〕                |
| Ⅳ 学校成果<br>(5項目)      | 国家試験合格率は100%、卒業生全員が就業、進学した。退学者は2人、原級留置者は1年生1人、2年生11人、3年生1人であるが、家庭環境、体調不良、単位未習得が主な理由となっており、家族背景や成育歴が多様で課題を抱えている学生も多い。卒業したばかりの卒業生には定期的にメッセージを送っているが、数年経過した卒業生の勤務先把握や評価ができていない。<br>スクールカウンセリングの継続、タイムリーな学生相談の対応、就職病院へのアンケートの実施を行っていく。                      | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔3.8〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔3.8〕                |
| Ⅴ 学生支援<br>(9項目)      | 学生の内面を把握するツールとしてSKK心理テストを導入している。クラス制として担任、副担任を置くことで、学生個々の多岐にわたる個別の対応ができる体制を取っている。進路に関しては進路主任が中心となり、クラス担任と連携してキャリア支援を行っている。健康管理は保健環境委員が中心となり、学校医と連携しながら行っているほか、スクールカウンセラーと連携を図り、月4回のカウンセリングを行っている。<br>退学、原級留置者を減少させるため、指導、カウンセリングの継続、SKK心理テストの結果も活用していく。 | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔4.0〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔4.0〕                |
| Ⅵ 教育環境<br>(3項目)      | 新校舎となったため、施設・設備・耐震性等の問題は無い。実習施設は拡大している。病院説明会を2回実施し、市内病院のほか湖西病院も交えて開催している。校内Wi-Fiの整備により電子教科書の導入などICT環境を整備した。年2回の防災訓練の実施、実習場所を含めた災害対応を学生、職員に周知している。<br>電子媒体をさらに利用できるように教員研修を検討する。海岸に近い実習施設については、避難場所・経路について確認する。                                          | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔4.0〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔4.0〕                |
| Ⅶ 学生の受け入れ募集<br>(3項目) | 高校訪問や高校の依頼によるキャリア教育の出張講義を積極的に実施した。新カリキュラムになり教育方針をわかりやすく伝えるためパンフレットを更新した。<br>高校訪問の際は当校の魅力について丁寧に説明し、進路ガイダンスには積極的に参加する。またホームページやSNSによる情報発信を充実し、魅力を定期的に発信していく。                                                                                             | 学生確保のためのアナウンスの工夫が必要である。 |
|                      | 評価点〔4.0〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔4.0〕                |
| Ⅷ 財務<br>(4項目)        | 公立であり財務基盤は安定しており、会計監査も行われている。令和5年度には新たに「湖西市校」を新設した。<br>今後は社会情勢に応じて授業料の妥当性を検討していく。                                                                                                                                                                       | 自己評価の内容を承認              |
|                      | 評価点〔4.0〕                                                                                                                                                                                                                                                | 評価点〔4.0〕                |
| Ⅸ 法令等の遵守<br>(4項目)    | 「個人情報保護管理規程」の策定、学生に配布する「臨地実習要綱」により実習記録の取り扱いを周知、個人情報の掲載には同意書にて同意のあった者のみ掲載している。職員は「浜松市個人情報適正管理に関する要綱」に基づき実施される研修に参加している。<br>専任教員研修未受講の教員の計画的な受講を進めていく。                                                                                                    | 自己評価の内容を承認              |

|                       | 評価点〔 4.0 〕                                                                                              | 評価点〔 4.0 〕 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| X 社会貢献・地域貢献<br>( 3項目) | 9、2月の浜松市主催の医療救護訓練に学生ボランティアとして参加した。<br>また、地域のゴミ置き場設置、保育園行事の講堂貸し出しを実施した。<br>今後も学生ボランティア、就業支援、出前講座を継続していく。 | 自己評価の内容を承認 |
|                       | 評価点〔 3.5 〕                                                                                              | 評価点〔 3.5 〕 |
| XI 国際交流<br>( 4項目)     | 1年生の英語の時間にウエストバージニア大学とオンライン上で交流、令和7年3月に学生2名が初めて短期留学に渡米した。<br>国際交流の必要性を共通認識し社会情勢を見ながら今後也能くできることを取り組んでいく。 | 自己評価の内容を承認 |

◇学校関係者評価会議 令和7年5月23日 本校会議室（学校運営会議と併せて開催）

会長 矢野 邦夫（学校長）

副会長 小野 奈津子（副校長）

委員 中山 禎司（浜松医療センター院長補佐）

委員 齊田 一郎（浜松医療センター事務局長）

委員 高橋 円香（浜松医療センター副院長兼看護部長）

委員 杉山 由香（浜松市立看護専門学校後援会長）

委員 杉野 俊子（浜松市立看護専門学校非常勤講師）

委員 平野 由利子（浜松市健康福祉部医療担当部長）

委員 小澤 亨史（校医）

事務局

澤木 亜紀（教務主任）

成岡 千恵子（技監）

落合 美智枝（副技監）

渡邊 禎子（副技監）

片岡 聡（事務長）